



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月28日

上場会社名 東京産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8070 URL http://www.tscom.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 蒲原 稔 (TEL) 03-5203-7841
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	90,474	37.2	1,895	62.5	2,165	56.0	1,489	52.5
2018年3月期第3四半期	65,956	△1.6	1,166	46.8	1,387	30.7	976	33.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	55.38	—
2018年3月期第3四半期	36.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	57,433	23,636	41.2
2018年3月期	59,716	22,962	38.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 23,636百万円 2018年3月期 22,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2019年3月期	—	9.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 創立70周年記念配当 3円00銭

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	24.3	2,400	9.2	2,500	7.1	1,700	4.4	63.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期3Q	28,678,486株	2018年3月期	28,678,486株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	1,779,114株	2018年3月期	1,804,279株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期3Q	26,891,406株	2018年3月期3Q	26,865,630株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、株式付与ESOP信託及び役員報酬BIP信託を導入しており、各信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策の継続を背景にして、企業収益や雇用環境の改善など、景気は緩やかな回復基調を持続しております。一方で世界経済に目を向けますと、米中貿易摩擦やEUのポピュリズムの台頭により景気減速懸念が高まるなど、依然として先行き不透明な状況となっております。

このようななか、当社の当第3四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ158億87百万円減少の864億48百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

売上高につきましては、前年同四半期に比べ245億17百万円増加の904億74百万円（前年同四半期比37.2%増）となりました。

売上総利益は58億2百万円（前年同四半期比9億25百万円増、19.0%増）、営業利益18億95百万円（前年同四半期比7億28百万円増、62.5%増）、経常利益21億65百万円（前年同四半期比7億77百万円増、56.0%増）、四半期純利益14億89百万円（前年同四半期比5億12百万円増、52.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

受注及び販売の状況
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電力事業	40,238 (56,496)	46.5 (55.2)	△16,258	42,378 (38,496)	46.8 (58.4)	3,882	60,300 (62,853)	53.6 (54.6)	△2,553
化学・環境事業	33,274 (33,668)	38.5 (32.9)	△394	35,512 (15,618)	39.3 (23.7)	19,893	44,501 (45,278)	39.5 (39.3)	△777
電子精機事業	8,520 (8,317)	9.9 (8.1)	202	7,795 (7,962)	8.6 (12.1)	△166	5,184 (4,882)	4.6 (4.2)	301
生活関連事業	4,315 (3,751)	5.0 (3.7)	563	4,687 (3,778)	5.2 (5.7)	908	2,560 (2,159)	2.3 (1.9)	401
その他	100 (101)	0.1 (0.1)	△0	100 (101)	0.1 (0.1)	△0	— (—)	— (—)	—
合計	86,448 (102,335)	100.0 (100.0)	△15,887	90,474 (65,956)	100.0 (100.0)	24,517	112,546 (115,173)	100.0 (100.0)	△2,627

(電力事業)

売上高は423億78百万円と前年同四半期に比べ38億82百万円の増加となっております。また、成約高は402億38百万円（前年同四半期比162億58百万円減）、成約残高は603億円（前年同四半期比25億53百万円減）となりました。

(化学・環境事業)

売上高は355億12百万円と前年同四半期に比べ198億93百万円の増加となっております。また、成約高は332億74百万円（前年同四半期比3億94百万円減）、成約残高は445億1百万円（前年同四半期比7億77百万円減）となりました。

(電子精機事業)

売上高は77億95百万円と前年同四半期に比べ1億66百万円の減少となっております。また、成約高は85億20百万円（前年同四半期比2億2百万円増）、成約残高は51億84百万円（前年同四半期比3億1百万円増）となりました。

(生活関連事業)

売上高は46億87百万円と前年同四半期に比べ9億8百万円の増加となっております。また、成約高は43億15百万円（前年同四半期比5億63百万円増）、成約残高は25億60百万円（前年同四半期比4億1百万円増）となりました。

(その他)

売上高は1億円と前年同四半期に比べ0百万円の減少となっております。また、成約高は1億円（前年同四半期比0百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(イ) 資産の部

当第3四半期会計期間末における総資産は、574億33百万円となり、前事業年度末と比較して22億82百万円の減少となりました。主な要因として、投資その他の資産の増加により固定資産が13億86百万円増加したものの、現金及び預金の減少等により流動資産が36億69百万円減少したことによるものであります。

(ロ) 負債の部

当第3四半期会計期間末における負債合計は337億96百万円となり、前事業年度末と比較して29億56百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務や前受金の減少等により流動負債が30億37百万円減少したことによるものであります。

(ハ) 純資産の部

当第3四半期会計期間末における純資産合計は236億36百万円となり、前事業年度末と比較して6億73百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は41.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2018年5月11日に公表致しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,114	7,182
受取手形及び売掛金	27,852	27,142
有価証券	2,099	2,000
商品	745	738
前渡金	1,573	3,367
その他	247	528
貸倒引当金	△13	△7
流動資産合計	44,621	40,952
固定資産		
有形固定資産	6,545	6,882
無形固定資産	116	70
投資その他の資産		
投資有価証券	5,105	4,746
その他	3,336	4,790
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,432	9,528
固定資産合計	15,095	16,481
資産合計	59,716	57,433
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,098	6,828
受託販売未払金	14,189	14,943
短期借入金	1,570	1,260
未払法人税等	498	249
前受金	6,228	4,366
引当金	379	179
その他	752	851
流動負債合計	31,716	28,678
固定負債		
長期借入金	3,010	3,002
引当金	200	225
その他	1,826	1,889
固定負債合計	5,036	5,117
負債合計	36,753	33,796

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,821	2,822
利益剰余金	15,824	16,759
自己株式	△693	△681
株主資本合計	21,395	22,343
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,574	1,324
繰延ヘッジ損益	△43	△68
土地再評価差額金	36	36
評価・換算差額等合計	1,567	1,292
純資産合計	22,962	23,636
負債純資産合計	59,716	57,433

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	65,956	90,474
売上原価	61,080	84,672
売上総利益	4,876	5,802
割賦販売未実現利益戻入額	4	12
差引売上総利益	4,881	5,814
販売費及び一般管理費	3,714	3,918
営業利益	1,166	1,895
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	182	213
為替差益	0	22
その他	64	78
営業外収益合計	258	322
営業外費用		
支払利息	33	45
その他	4	7
営業外費用合計	37	52
経常利益	1,387	2,165
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	26	0
受取保険金	88	0
特別利益合計	115	0
特別損失		
災害による損失	33	—
固定資産処分損	25	0
固定資産圧縮損	15	—
特別損失合計	73	0
税引前四半期純利益	1,429	2,165
法人税、住民税及び事業税	338	616
法人税等調整額	113	60
法人税等合計	452	676
四半期純利益	976	1,489

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力事業	化学・環境 事業	電子精機 事業	生活関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,496	15,618	7,962	3,778	65,855	101	65,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	38,496	15,618	7,962	3,778	65,855	101	65,956
セグメント利益	534	404	85	92	1,117	49	1,166

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,117
「その他」の区分の利益	49
四半期損益計算書の営業利益	1,166

II 当第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力事業	化学・環境 事業	電子精機 事業	生活関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,378	35,512	7,795	4,687	90,374	100	90,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	42,378	35,512	7,795	4,687	90,374	100	90,474
セグメント利益	390	1,199	114	144	1,850	45	1,895

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,850
「その他」の区分の利益	45
四半期損益計算書の営業利益	1,895